

岐阜県 多治見市 虎溪山永保寺・虎溪公園・多治見修道院 市内散策

2022/11/17 瑞穂鯨城会 ウォーキングクラブ

○実施日 ・2022年 11月17日

○参加者:12名

○ 散策ルート

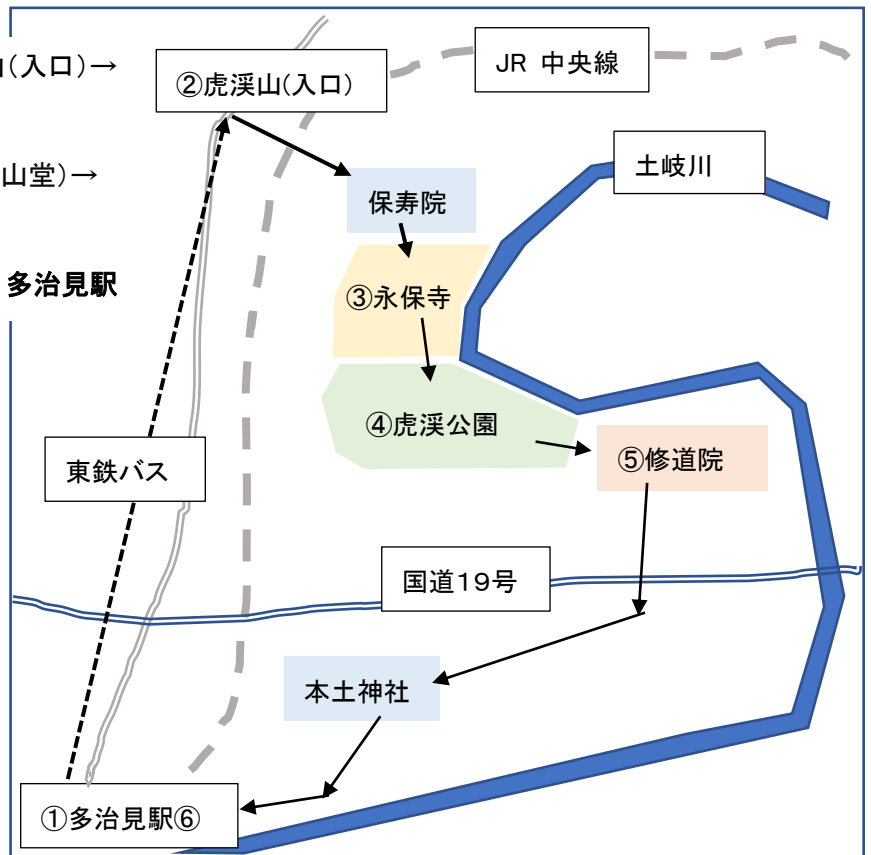
- ①JR 多治見駅→東鉄バス→②虎溪山(入口)→保寿院→
- ③虎溪山永保寺
(本堂、大銀杏、観音堂、臥龍池、開山堂)→
- ④虎溪公園(展望台、広場、茶屋)→
- ⑤多治見修道院→徒歩→
本土神社→(織部ストリート)→⑥JR 多治見駅

○ 散策ルートの特徴:

・虎溪山永保寺、虎溪公園、修道院は、JR 多治見駅から徒歩 20~30 分ほどの位置にあり、お互いの位置も徒歩で移動できる距離なので、多治見の街をのんびりと散策するのに適している。

・コースは、保寿院から永保寺への下り、永保寺から虎溪山公園への上り、虎溪山公園から修道院への下りなどがあるが、それ以外は平坦で、散策しやすい。

・多治見駅周辺は美濃焼のお店も多く、陶芸体験ができる店もある。



○タイムスケジュール

- ・JR 金山駅 乗車 8:15、→(JR 中央線)→ JR 多治見駅 到着 9:08
- ・多治見駅前 出発 9:20→(東鉄バス)→ 虎溪山入口 到着 9:30→(以降 歩き)→ 保寿院 9:40→
- ・虎溪山永保寺 到着 10:00 (境内 自由散策) 10:40 出発
- ・虎溪山公園 到着 11:00 (ランチ) 出発 12:00 →→
- ・修道院 到着 12:20 (修道院内見学) 13:00 出発→→ 本土神社 13:15 →→
- (この後、自由 解散、希望者は織部ストリート散策)→→多治見駅→(JR 中央線)→JR 金山駅

○感想

好天に恵まれ、爽やかなハイキング日和であった。
また、永保寺本堂前の大銀杏、臥龍池のもみじの紅葉は、素晴らしかった。
虎溪公園にある茶店の、五平餅／田楽はおいしかった。

保寿院、徳林寺、続芳院は、虎溪山永保寺の塔頭寺院(たちゅうじいん)の一つ。
塔頭寺院:大寺の寺域内に在って本寺を補佐する子院。



○撮影記録

東鉄バスを降りて、虎溪山永保寺に向かう



保壽院 : 虎溪山永保寺の塔頭寺院(たっちゅうじいん)の一つ。
庭園の枯山水(獅子吼庭)は見ものである。

保壽院 三門



保壽院 枯山水



○虎溪山永保寺:

小高い虎溪山の北側に佇む禅寺で、鎌倉時代に開創された。
鎌倉末期に建てられた「観音堂」と「開山堂」は国宝に指定され、池泉(臥龍池)回遊式庭園は国の名勝に指定されている。
11月下旬には、樹齢約700年の大銀杏をはじめとする紅葉が見事で、市民や観光客を楽しませる。



保壽院 獅子吼庭

保壽院から永保寺へ向かう道から永保寺(観音堂、臥龍池)を見下ろす。



本堂と大銀杏



国宝 観音堂

国宝 開山堂



観音堂と臥龍池。





永保寺から
虎溪公園へ
の登り道

○虎溪公園:

展望台からは土岐川をはさんで多治見市街を一望できる。
春になると桜並木に囲まれた自然豊かな公園となり花見客で
にぎわう。

公園内の茶屋では木の芽田楽や五平餅などが楽しめる。



虎溪公園（昼食を取る）



虎溪公園からの坂道を下りたところにある修道院（北側）



○多治見修道院:

虎溪公園の東の麓にそびえ、白い壁と赤い屋根が特徴のバロック式の教会。全国に5つしかない修道院のひとつで、協会の内部はステンドグラスから漏れてくる光が、淡く照らす様子はとても厳かである。

また、日本で唯一、ワインを醸造している修道院。

修道院 正面玄関



修道院 正面玄関にて 全員で写真



本土神社